Japan Patent Office Patent Laying Open Gazette

Patent Laying-Open No.

62-51296

Date of Laying-Open:

March 5, 1987

International Class(es):

H05K 7/00 H01B 17/58

H01R 4/70 H02K 5/22

(4 pages in all)

Title of the Invention:

Structure of Drawing Out Portion of

Cable in Electric Device

Patent Appln. No.

60-191296

Filing Date:

August 30, 1985

Inventor(s):

Hiroshi TAKEDA

Applicant(s):

ORIENTAL MOTOR Co., Ltd.

omitted

2. Scope of Claims for Patent

- (1) A structure of a drawing-out portion of a feed cable in a motor, characterized in that, in the structure of the drawing-out portion of the cable in the electric device, a connection terminal is provided at one end of an external cable, a portion provided with the connection terminal is resin-molded integrally with a protective cover arranged parallel to said electric device, and said connection terminal and said electric device are electrically connected.
- (2) The structure of a drawing out portion of a cable in an electric device

according to claim 1, characterized in that, in said external cable, at least a boundary between the resin-molded portion and a portion that is not resin-molded is molded with a resin material that is softer than other parts.

omitted

四日本国特許庁(JP)

@特許出願公開

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A)

昭62-51296

@Int_Cl.4

識別記号

庁内整理番号

@公開 昭和62年(1987) 3月5日

H 05 K 7/00 H 01 B 17/58 H 01 R 4/70

5/22

N-7373-5F 7227-5E Z-6625-5E 7052-5H

審査請求 有

発明の数 1 (全4頁)

図発明の名称

H 02 K

電気機器におけるケーブルの引出部の構造

②特 願 昭60-191296

匈出 願 昭60(1985) 8月30日

⑦発 明 者

竹 田

弘志

柏市篠篭田1400 オリエンタルモーター株式会社内

⑪出 願 人 オリエンタルモーター

東京都台東区小島2丁目21~11

株式会社

砂代 理 人

弁理士 吳山 尚男

外2名

明 知 書

1. 発明の名称

電気機器におけるケーブルの引出部の構造 2. 特許研求の範囲

(1) 電気機器におけるケーブルの引出部の構造において、外部ケーブルの一端部に接続幅子を設けると共に、該接統編子を設けた部分を上記電気機器に並改する保護カバーと一体に出版成形し、上記接続端子と電気機器を電気的に接続したことを特徴とする電動機における給電用ケーブルの引出部の構造。

四 上記外部ケーブルは、少なくとも制脂成形された部分と問題成形されない部分との境界において他の部分より軟質の樹脂材料でモールドされていることを特徴とする特許額求の範囲系(1) 項記取の電気機器におけるケーブルの引用部の構造。 3. 発明の詳細な説明

a. 産業上の利用分野

本発明は、電気機器におけるケーブルの引出部 の構造に関する。

b. 従来の技術

従来、たとえば電動機における給電用ケーブルを引出す構造としては、一般に、第3回またに、100は電動機ケース、101は固定子、102は回転触108に取り付けられた回転子である。この場合、固定子101の連線104に接続したリード線105を通して動機ケース100に設けられた神通孔106を通して電動機ケース100外に引出すようにしたものである。107は困難ブッシュである。

一方、第4図の場合、第3図の電動観ケース100に端子ボックス108を並設し、ボックス108外部から引き込まれたケーブル109とリード線105を接続端子110又は半田付等で間定し、ケーブル109を端子ボックス108にシールコネクタ111によって固定したものである。

c. 発明が解決しようとする問題点

しかしながら、第3図のものは、樹脂ブッシュ 107 の孔を通して抽、水等が液入し易く、かつり - F 線105 が樹脂ブッシュ107 の部分で配面し易 く、引張強度および脳曲強度において不充分であった。また、第4図のものは、塩動機ケース100にさらにポックス108を並設するため、大型化し、かつ接続端子110を使っての結線やシールコネクタ11! の固定がめんどうであった。この場合も、ポックス108 から引出される部分でケーブル109が風曲し易い欠点がある。

本発明は、上記問題点を解決し、電動選等のリード線あるいは給電用ケーブル等の損傷を防止し得る電気機器におけるケーブルの引出部の構造を 提供することを目的とする。

d. 問題点を解決するための手段

本発明は、電気機器におけるケーブルの引出部の構造において、外部ケーブルの一端部に接続端子を設けると共に、 額接線 端子を設けた部分を上記電気機器に並設する保護カバーと一体に樹脂成形し、 上記接続端子と電気機器を電気的に接続したことにある。

e. 実施例

以下、電動機のリード線と給電用ケーブルとの

3

ント配線基板 9 を保護カバー 2 内に配置することで上記リード線 8 と電気的に接続されるものである。接続帽子 5 はハンダ付け等によりプリント配線基板 9 に固定されている。

上記構成によるケーブルの引出部の構造によるケーブルの引出部の構造によるとは立てに際して動物100円を認めまする。それはないのが付けにより固定する。それではないのがでは、では、というとはない。というというというというというというというというにはない。というにはないので、対しているので、可能性を有しいる。

なお、第2図のように、保護カバー2内に電磁 ブレーキあるいは速度検出回路部が配設されている場合には、これらの信号用のリード級11もブリ、 ント配線基板9にハンダ付けをしておく。 接続に適用した図示の実施例を参照しながら本発明を詳細に説明する。

第1回回回において、1は電動機、2は電動機 1に一体に設けられた保護カバーであり、この保 置カバー2は図示しないネジにより電動機1の構 仮6にネジ止めされている。この保護カバー2は 合成問題のもので、給電用ケーブル4の接続機 子5を一体に成形したものである。

保護カバー 2 の成形は、 給電用ケーブル 4 の一端に接続端子 5 を装着しておき、これを型内において保護カバー 2 の成形と同時に 樹脂でモールドする。そして、 給電用ケーブル 4 の 樹脂でモールドされた部分と、モールドされない 部分の境界部分2aをさらに、上記樹脂よりも軟質の樹脂でモールドして成形する。

一方、電動機1の強板6の引出孔7から引出されたリード線8は、ブリント配設基板9にハンダ等で培養しておき、このブリント配線基板9を保護カバー2内に配置する。プリント配線基板9には接続端子5の挿通孔10が形成されており、ブリ

t. 発明の効果

以上述べたように本発明の電気機器におけるケーブルの引出部の構造によれば、外部ケーブルの一緒部に接続端子を設けると共に、 旋接統端子を設けた部分を電気機器に並設する 保護 女 ボーと一般に樹脂成形し、上配接統端子と電気機器の引出部のに接続したので、ケーブルが電気機器の信担性の向上を以の耐久性の向上および電気機器の信担性の向上を図ることができる。

4. 図面の簡単な説明

第1回回は本発明の一実施例による電気機器におけるケーブルの引出部の構造を示す経断面図、第2回は本発明の他の実施例を示す経断面図、第3回および第4回は従来の電動機用ケーブルの引出部の構造を示す経断断図である。

1 … 電動機、 2 … 保護カバー、

3 … 電動機ケース、 4 … 給電用ケーブル、

5 …投統端子、 B. 11 … リード線、

9 … ブリント記録器板、10 … 挿過孔。

5

6







